

令和 5 年度決算のポイント



目 次

令和5年度決算の状況	1
令和5年度決算の特徴	2
主な財政指標の推移	6

令和5年度決算の状況

概況

【会計別歳入歳出決算額及び実質収支】

(単位:百万円)

会計		歳入決算額	歳出決算額	形式収支	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支
一般会計		506,283	502,483	3,800	949	2,851
特別会計(14会計)		334,202	333,016	1,186	150	1,036
会計		収入額	支出額	形式収支	当年度純損益(税抜)	累積欠損金(税抜)
企業会計 (3会計)	収益的収支	55,554	54,850	704	202	
	病院	23,289	23,945	△ 656	△ 642	△ 3,719
	資本的収支	20,987	32,656	△ 11,669		
全会計合計		917,026	923,005			

※各会計毎に表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

※企業会計の資本的収支の不足額は、内部留保資金等で対応した。

令和5年度決算の特徴①

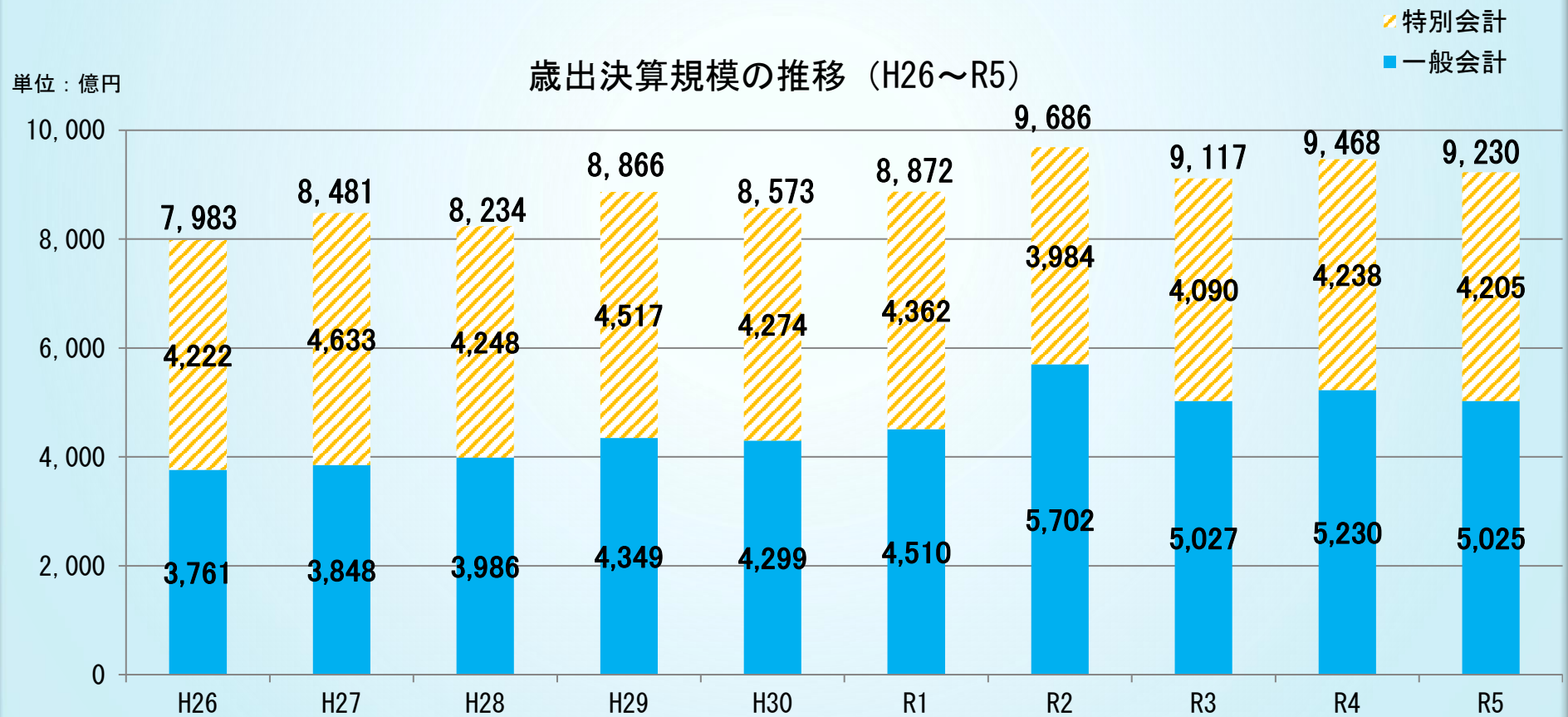
決算規模

○一般会計の決算規模は、

歳入 5,063億円（対前年度比 236億円減 4.4%減）

歳出 5,025億円（対前年度比 205億円減 3.9%減）

⇒歳入・歳出ともに過去4番目の規模



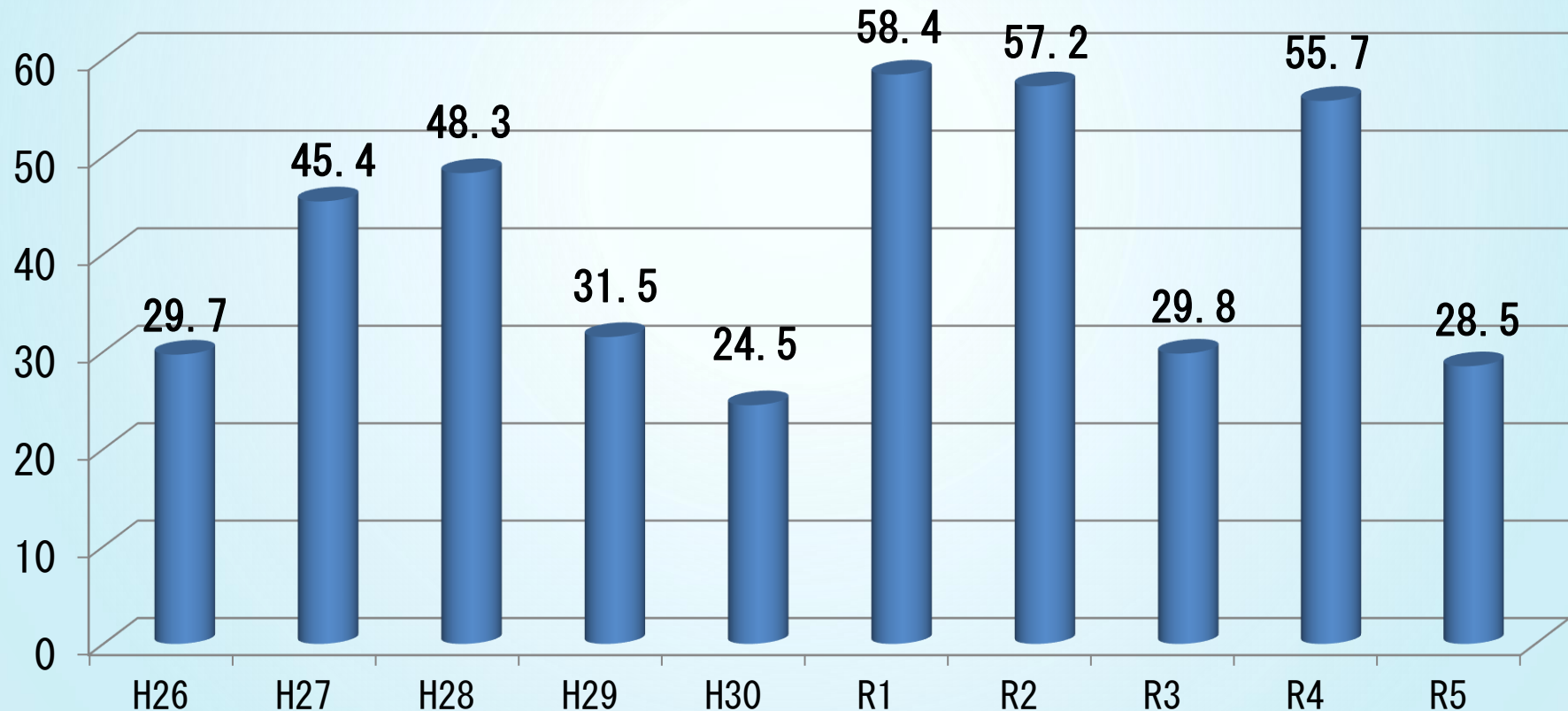
令和5年度決算の特徴②

実質収支の確保

○一般会計では、歳入において市税が予算に比べ減収となったものの、歳出において、効率的な予算執行に努めたことなどにより、29億円の実質収支（黒字）を確保

単位：億円

一般会計実質収支の推移（H26～R5）



令和5年度決算の特徴③

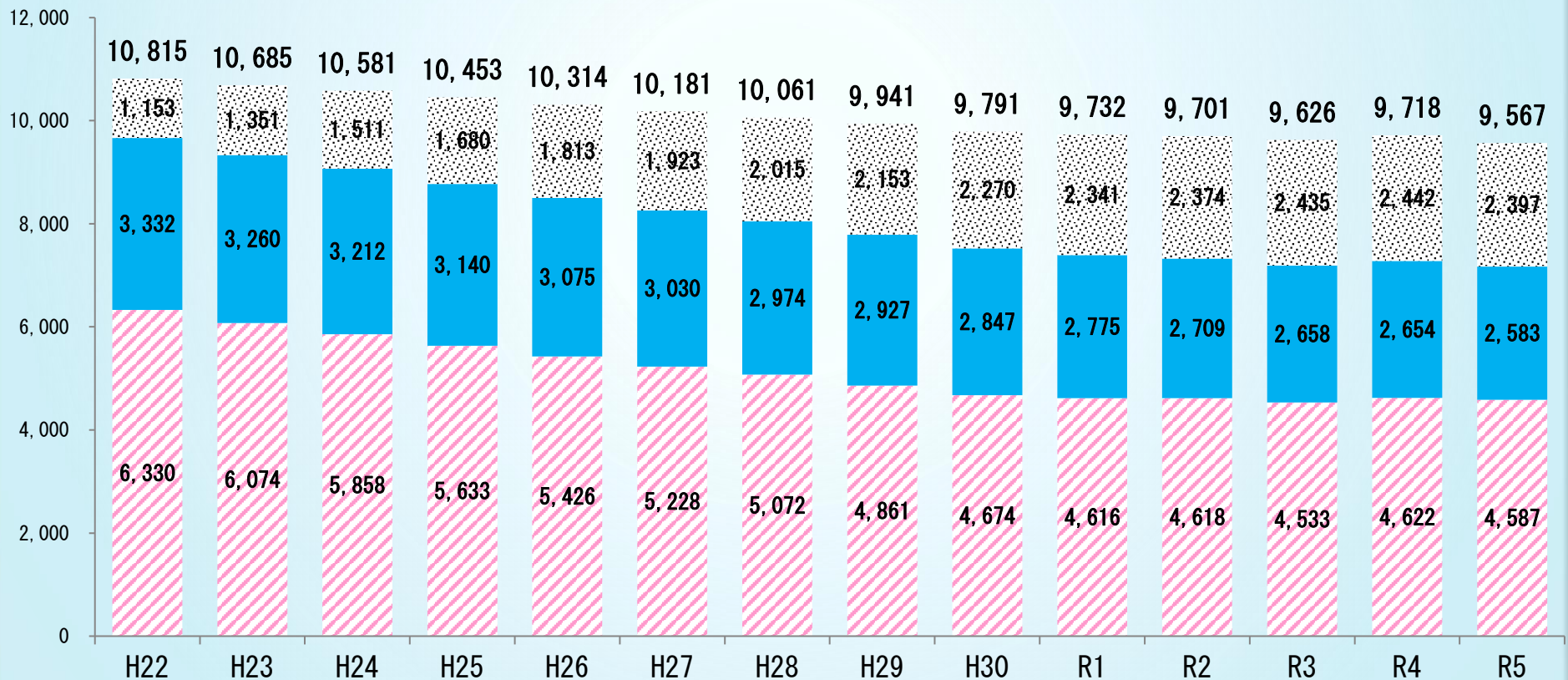
市債残高

○市債残高は、対前年度比151億円の減

市債残高の推移（H22～R5）

■ 普通会計分（臨時財政対策債除く） ■ 公営企業分 □ 臨時財政対策債

単位：億円



令和5年度決算の特徴④

基金借入残高

○一般会計の収支均衡を図るために実施している基金借入の残高は、着実に削減（対前年比△20億円）

基金借入残高の推移（H26～R5）

単位：百万円

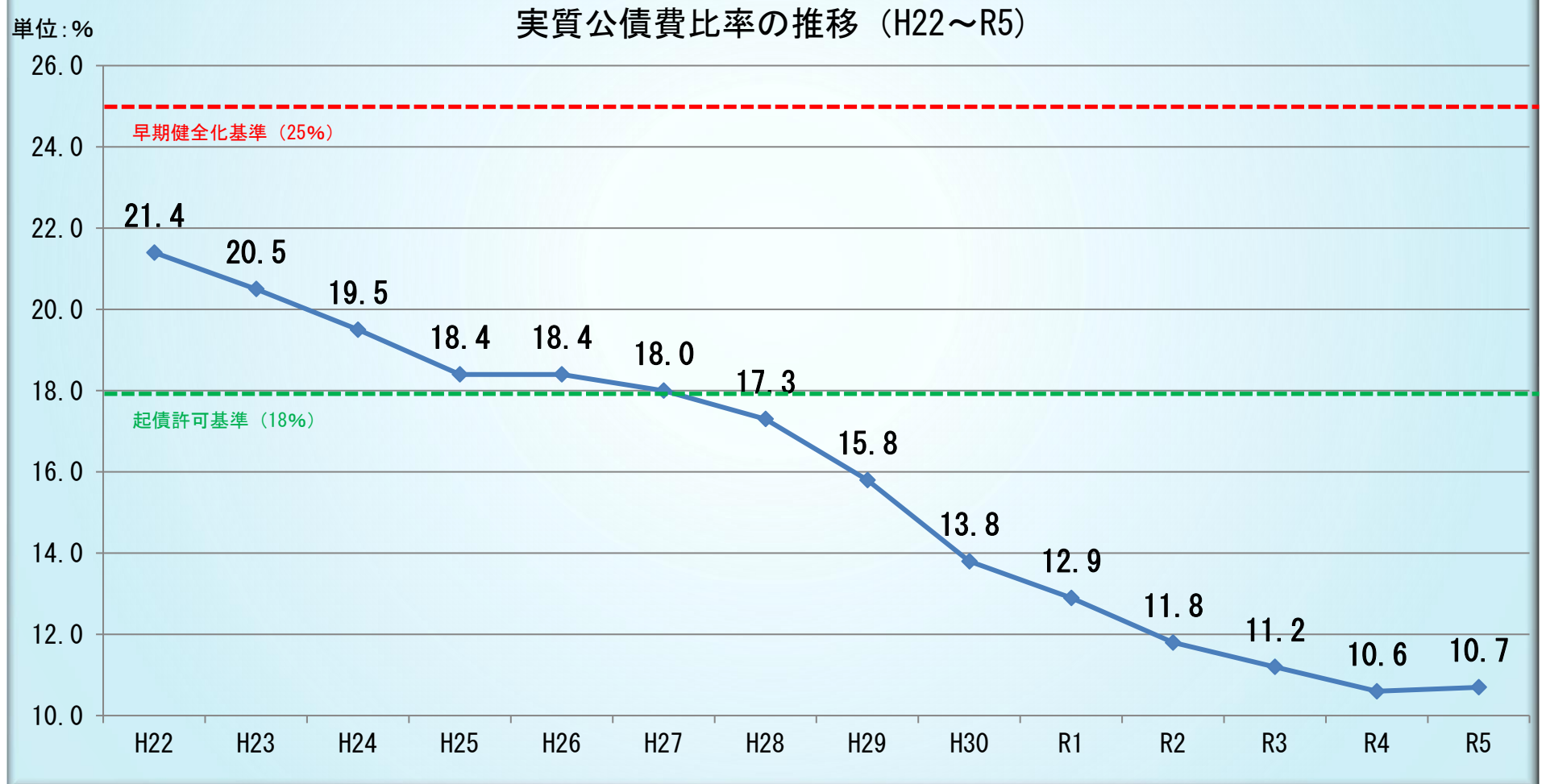


主な財政指標の推移①

実質公債費比率

(公債費等(地方債の元利償還金等)の標準財政規模に対する割合)

○実質公債費比率は横ばい(10.7%、対前年度比+0.1pt)

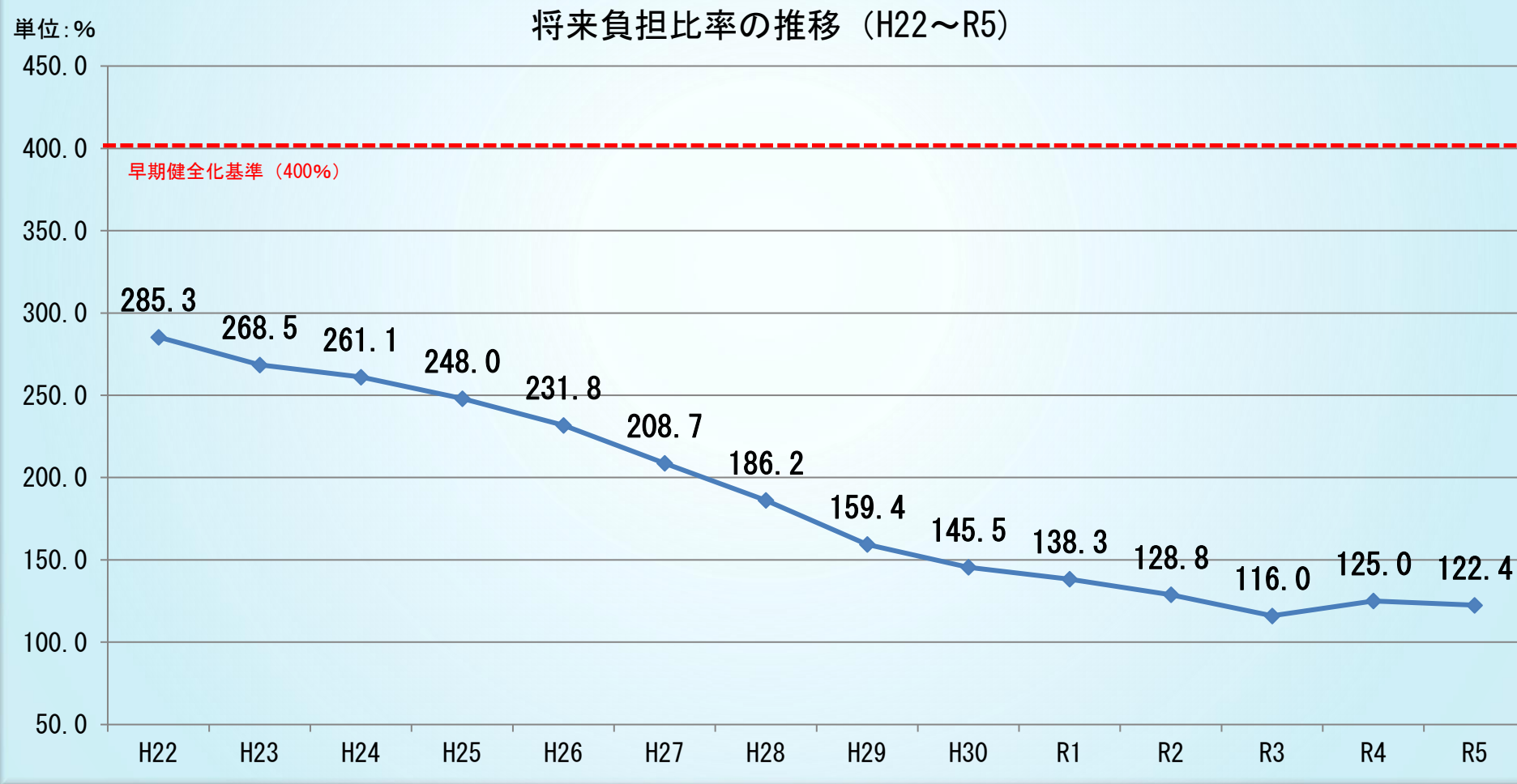


主な財政指標の推移②

将来負担比率

(将来負担債務の標準財政規模に対する割合)

○将来負担比率は低減（122.4%、対前年度比△2.6pt）

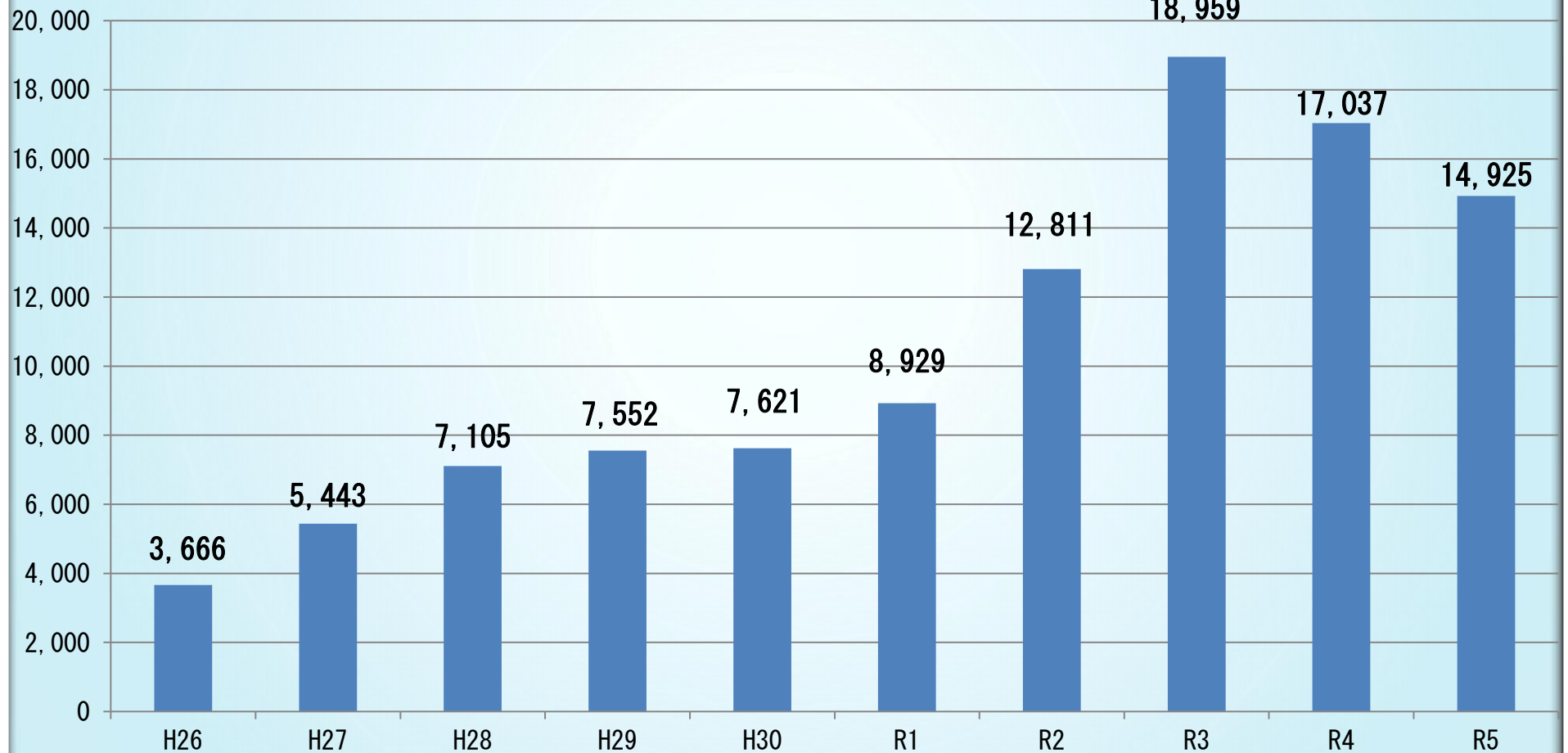


主な財政指標の推移③

財政調整基金

財政調整基金残高の推移 (H26～R5)

単位:百万円



主な財政指標の推移④

資金不足比率

(公営企業ごとの資金の不足額の事業規模に対する割合)

○対象となる6会計でいずれも資金不足比率の発生はなし

(単位:%)

区分	法適用			法非適用		
	病院事業	下水道事業	水道事業	農業集落排水事業	地方卸売市場事業	動物公園事業
令和5年度	-	-	-	-	-	-
令和4年度	-	-	-	-	-	-
経営健全化基準	20.0					